

令和2年度事業報告書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人

活木活木(いきいき)森ネットワーク

1 事業実施の方針

本格的な利用期を迎えた森林資源の循環利用を進めるためには、木を使うことの良さや意義、森林づくりの重要性について、幅広く国民の理解を促し、行動につなげていく必要がある。

このため、これまで、広く一般消費者を対象に木材利用の意義を広めて木材利用を拡大するための「木づかい運動」の取組を実施してきました。今後も、これまでの展示会等での普及啓発活動の継続に加え、新たに、令和元年度に制作した民間企業等向けの「木づかいのススメ」による普及活動及び木づかいの普及啓発などの実践者向けの「木の基本」を活用したセミナーの開催などの活動をすすめるとともに、優れた地域材製品等を表彰するウッドデザイン賞を運営した。

また、公共建築物の木造化・木質化に向けた普及促進、「地域内エコシステム」の構築に向けたモデル的な取組の促進等による木材需要の創出や、高付加価値木材製品の輸出拡大、合法伐採木材等の流通及び利用の促進、民間セクターによる非住宅建築物等への木材利用促進、広葉樹を活用した成長産業化支援対策の取組に対して総合的に支援し、林業の成長産業化の現実を図る必要がある。

このためには、木造公共建築物、木質バイオマス等への林産物の利用促進を図ることが重要であり、この対策のひとつとして、木質バイオマス利活用施設等の整備に必要な資金の借入れについて利子助成を行った。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者の 人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)
① 森林・環境・木材に関する普及啓蒙事業	正会員及び家族会員に対する森林・環境・木材に関する普及啓蒙活動を行った。	4月～ 3月	特に場所を 定めない	延22人	一般個人並 びに法人	123
② 木材利用に関する企画・開発・普及事業	〇民間企業等向けの「木づかいのススメ」による普及活動及び木づかいの普及啓発などの実践者向けの「木の基本」を活用したセミナーの開催などの活動をすすめるとともに、優	5月～ 3月	埼玉県立川の博物館、農林水産省消費者の部屋、林野庁7階の中央展示、川崎総合科学高校、愛	延1,025人	一般個人並 びに法人	8,001

	<p>れた地域材製品等を表彰するウッドデザイン賞を運営した。</p>		<p>知教育大学付属高校、広島大学付属高校、伊万里実業高校、芦北高校、南稜高校</p>			
	<p>④木造公共建築物、木質バイオマス等への林産物の利用促進を図ることが重要であり、この対策のひとつとして、木質バイオマス利活用施設等の整備に必要な資金の借入れについて利子助成を行った。</p>	<p>5月～3月</p>	<p>八戸市、奥入瀬町、平川町、宮古市、一関市、那須塩原市、日光市、富士市、浜松市、潟上市、新潟市、妙高市、岐阜市、名古屋市、松阪市、泉佐野市、神戸市、福井市、福岡市、太宰府市、徳島市、宿毛市、松山市、都城市、鹿屋市、大村市</p>	<p>延2,340人</p>	<p>一般個人並びに法人</p>	<p>43,529</p>

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施 日時	実 施 場 所	従事者の 人数	支出 (千円)
なし					